



# YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

1640号

会 長	横澤 創	会長エレクト	岸 幸博	事 務 所	大和市大和南2丁目1番1号
副 会 長	松崎正実	幹 事	入江公敏		大和中央ビル 301
会報委員会	小柳智裕	阿萬正巳	後藤定毅		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
	古郡 清	石川達男			E-mail : naka-office@ynrc.jp
例 会 場	八千代銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)				URL : http://www.ynrc.jp

## 国際ロータリーテーマ

Peace Through Service

「奉仕を通じて平和を」

RI会長 田中作次

## 大和中ロータリークラブ会長ターゲット

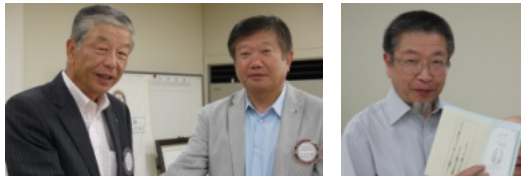
週一度 みんなに会える 楽しみ

【本日のプログラム】 9月27日 第2回クラブ協議会「ガバナー公式訪問に備えて」 壽永 純昭 ガバナー補佐  
 【次回予告】 10月4日 クラブフォーラム「米山月間にあたり」 斉忠良 様(米山奨学生)

【第1635例会】 平成24年9月20日(木) 【司会SAA】 高橋 清 君 【斉唱】 「それでこそロータリー」  
 【ソングリーダー】 富澤 克司 君 【ゲスト】 谷下 喬一 様、梶本 一義 様  
 保田 嘉雄 様・小林 貢 様(大和田園RC)

## 会長の時間 横澤 創 会長

本日は、谷下恭一先生による「元気のあるアジア市場」の卓話です。大変楽しみにしていました。宜しく願います。  
 米山功労賞の感謝状が、松崎 正実 会員、入江 公敏 会員に届いております。



大和田園RC創立30周年記念「ふれあいコンサート」が10月6日(土)14時より「清風」(小田急高座渋谷駅西口側)にて開催されます。

さて、後藤さんのお嬢さん、歩さんの結婚式に出席のため、明日から2泊3日で韓国ソウルに行つて参ります。歩さんの御多幸を願い、日韓の新たな架け橋となって頂ける事を心から祈念いたします。

東慶州RCの金会長を始め何名かの方々も招待されていますので、向こうでお話をする機会が出来るかと思えます。姉妹クラブ締結30周年を迎え当クラブでも姉妹クラブの今後の在り方を考えるクラブフォーラムが開催されました。そのことも踏

まえ、お互いを尊重しながら未来志向の関係を継続するためにしっかりとした議論をして参りたいと思います。

昨今の竹島問題でお互いの国民感情がぎくしゃくしている時にこそ、民間の草の根交流の積み重ねが非常に重要であると認識しています。

ここで日経新聞8.27に興味深いコラムが掲載されましたので御紹介します。

「北極海の近くにハンス島という小さな島がある。面積は1.3平方キロメートルというから、竹島よりは少し大きい。東にはデンマーク領のグリーンランド、西にはカナダの領土が広がっている。2つの国は島の領有権を主張して係争中だが、どこかほのぼのとした雰囲気漂う。どちらの国かは申し上げられないが、一方の外交官が「係争が起きてから良かったことがある」とこっそり教えてくれた。入れ替わりで駐留するデンマークとカナダの部隊が、それぞれの国産ビールを「置き土産」として島に残していく習わしが、受け継がれているようだ。上陸したらまず相手国のビールで乾杯というわけだ。(中略)領有権の交渉は終わりが見えない。それでも両国に焦る様子が見えない。冷めた喧嘩と呼ぶべきか。互いに「見解の不一致」を認めたくて、歴史の検証や共同開発の検討が淡々と進められて

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 3名(敬称略)
40名	35名	92.11%	80%	7名	阿萬、古郡、原嶋

いる。カナダ軍の置いた酒の箱に「カナダによろそ」と書いてあったそうだ。デンマーク兵はニヤリと笑って飲んだに違いない。」

日本と韓国そして米国は民主国家であり同盟国です。一時の感情に左右されず、事の本質「本当の脅威は何か」を見極めながら、先程のコラムのようにお互いの「見解の不一致」を認めたくえで大人の成熟した関係になるよう心がけたいものです。

## 幹事報告 入江 公敏 幹事

### 第3回理事・役員会報告(審議事項)

9/9家族例会の収支、8/30夜間例会収支、8月までの予算の執行状況について承認。

元会員の当クラブ入会に伴う入会金について、細則第6条第1項但し書きに基づき標準RC定款11条による2度目の入会金の納入の適用を準用し入会金を不用とすること、承認。

青少年交換留学生の各クラブ人頭割により拠出する提案は否決。

合同賀詞交歓会に座間RC参加の件承認。

10/25クラブ協議会「地区大会を終えて」は議論の内容をR情報・クラブ研修委員会に付託する会長提案、承認。

11/15クラブフォーラムは次年度の奉仕活動の内容が主体であり、次年度会長・幹事が中心とするべきとの山崎奉仕プロジェクト委員長の提案、承認。

## 委員会報告

お祝いの方々

親睦活動委員会 富澤 克司 委員長

配偶者誕生日 郡司 禎子 夫人 9月26日

創業記念日 辻 彰彦 君 9月24日

## 3分間スピーチ 橋本 日吉

私にとって忘れかけた職業奉仕についてのスピーチの機会を得て、大変嬉しく思っています。

11年前に入会した際、職業奉仕のプログラムで、上田先生のご指導の元、DVDを編集して発表する例会の場があり、職業奉仕について一生懸命学ぶことができた記憶があり、RCに興味を覚えた事を含め今でも忘れません。

古びた荒廃した街シカゴで、各々の職業を持つ4

人が集まり、職業の専門性を生かし繋がりを作り、仕事をし、職業を通して社会に奉仕したのがロータリーの始まり、出発点です。

今では、ロータリーの歴史も大きく進化し、「奉仕を通して平和を」地域社会のみならず国内外世界にまで、奉仕活動の視点を移す時代になりました。そんなロータリーのトレンドの中、横澤年度では、職業奉仕は消滅されず、奉仕プロジェクトの中に置いて頂いた事は、大変意義のある事だと思っている一人であります。

リーマンショックも束の間、3・11以降、世の中は大きく変化しました。人と人との絆の重要性、地域行政、学校、企業、各種団体、ボランティア団体、自治体等の連携は、大変重要な事も学びました。この事は日本が世界中から、注目と評判を得た事であり、記憶に新しいと思います。

さて、私たちを取り巻く地域経済はデフレ状態で出口の糸口を思い出せない現状ではないでしょうか。今こそ、もう一度ロータリーの原点に振り返り、学び直す必要があるのではと思っています。ロータリー各々の職業の専門性を生かし連携して、地域でロータリーここにありと地域再生の為に、新しい価値創造や新しい仕事づくりへと、「職業を通しての奉仕」あるいは「中小企業の社会的責任の遂行」の第一歩を一緒に踏み出す事が出来ることを願っています。

## 卓話

「元気のあるアジア市場」



谷下 喬一 氏

プロフィール

山口県下関市生まれ

慶応義塾大学法学部

政治学科卒業

旭化成工業(株)に入社

エンジニアリング樹脂の国内・海外営業に携わる

その後イオン交換膜事業を経て退職

華立ジャパン(株)を設立、代表取締役就任

2007年 谷下FER事務所設立、旭化成イーマテリアルズ(株)新事業開発総部顧問、現在に至る

## 1 過去の進出日本企業の失敗要因(製造業)

- 1) 中国サイドの規制(ISO環境、労働規約)が厳しい、またその変化についていけない。
- 2) 労働争議への対応が難しい。  
⇒広東省の自動車、自動車部品メーカー
- 3) 技術が盗まれる。技術リークへの対応が出来ない。
- 4) 売り掛け金の回収が出来ない。
- 5) 現地スタッフが辞める。更に競合メーカーとなる。
- 6) 台湾企業ほど労働者を安く雇用できない。
- 7) 本社の承認事項が多く、決断が遅い。
- 8) 行政府とのパイプが細い。

⇒日本企業の努力不足も要因

## 2 日本企業の失敗要因(下請け、中小企業)

- 1) 中国サイドのサポートがない。進出初期とその後と話が違ってくる。
- 2) エンドユーザーから仕事が来ない。 ⇒紐付き以外は難しい。
- 3) 自ら市場開拓が出来ない。即ち新たな顧客を見つけられない。
- 4) 日系以外の顧客(欧米系、台湾系)との結びつきが殆んどない。
- 5) 交渉力が弱くパートナーの言われるままになる。  
何をチェックしてよいか判らない。
- 6) トップが常駐しておらず、腰が据わっていない。
- 7) ローカルスタッフが振り回される。  
逆に中心となるローカルスタッフがいない。
- 8) ローカルや台湾系下請けに比較してコスト競争力がない。

⇒事前の準備不足

## 3 なぜ台湾系企業は日系企業に比較して中国でうまく成功するのか？

- 1) 言葉の壁がない。
- 2) 本社機能を中国にシフト、トップが常駐。オーナーがリスクを負う。
- 3) 中小企業でも開拓力がある。 ⇒台湾系、日系、欧米系自由自在に受注できる。
- 4) 顧客も下請けも同じ台湾系シンジケート内で仕事が成り立つ。  
中国ローカル企業との仕事は意外に少ない。  
⇒殆どどの地域で台商協会ネットワーク(シンジケート)が確立され、互助会機能が来ている。
- 5) 台商協会の機能が充実し、地元行政とのパイプが太い。
- 6) 中国人労働者を低賃金で雇用している。日系は出来ない。
- 7) 労働力は企業のトップが outgoing、四川省、湖南・湖北省の地方の学校と契約する。定着もするし安定的である。
- 8) 設備は台湾から持ち込み、投資低くてすむ。法人税も台湾は17%
- 9) 行政との折衝が巧みである。 ⇒台湾企業は停電がない。日系は自家発電導入。
- 10) 日本人スタッフの技術サポートが貢献。  
⇒どの台湾企業にも多くの日本人技術スタッフがいる。

## 4 なぜ台湾企業は日本企業を誘って中国に進出するのか？(ECFA締結後)

- 1) 中国からの追い上げが急で、技術的優位性が薄まりつつある。
- 2) 技術力のある製品メーカーだけを誘う。 ⇒台湾企業にとってメリット大きい。技術力のない中小企業へは声がかからない。
- 3) 日本企業の利より台湾企業の利のほうが圧倒的に大きい。 ⇒鴻海精密
- 4) 日本企業は相手任せ(台湾企業)ですむので楽であるが、本来の利権については日本企業は分っていないので台湾から見れば組み易い。  
⇒技術は日本 資本は台湾・・・配当

## 5 日本企業を招聘する中国側の課題

- 1) 今でも日系企業の中国からの撤収が続くが内容について分析が不足している。  
⇒依然としてなぜ撤収が継続するのか？
- 2) 進出する日本企業と進出先の市場、技術の環境とマッチングしているか分析必要。  
⇒地域別分析: 華南、華東、華北、東北
- 3) 進出する日本の中小企業に対して何らかの利益保証が出来るか？  
継続的に可能か？  
⇒突然、法令、条例により日本側が身動きできなくなる可能性あり。
- 4) 企業間提携に関しても行政がどれだけサポートできるか？ ⇒重要ポイント
- 5) 中小企業が進出する場合、事前に顧客紹介、マーケティング精度が高められるか？  
⇒行政のサポート
- 6) 進出企業に関して行政同士の取り決めが可能か？  
例えば 遼寧省中小企業庁VS. 東京都中小企業振興公社海外支援室

## 6 日本企業の課題と東アジアでどう対応するか？

- 1) 日本企業の経営層に課題が多い。vs. 韓台企業のオーナー経営層  
リスクを負わない、経営判断が遅い、即断即決できない。
- 2) 人材教育、採用の問題  
グローバルな視点を持った人材採用が必要  
日本の大学を卒業した留学生の積極採用と中長期の育成計画、ミッションを明確に
- 3) グローバルスタンダードを意識した戦略  
積極的に技術開示 ⇒パートナーと提携、合併 世界戦略の基礎  
差別化の見直し ⇒ニッチを狙わずグローバルスタンダード(国際標準)を狙う。
- 4) 弱い交渉力、折衝力を高める。  
ビュアな日本人: 良くも悪くもビュアな日本人。競争、議論を避ける。  
⇒NDA、価格折衝、技術ライセンスの対価など、  
⇒合併、提携後は相手任せ  
負けない日本企業: グローバル戦略が出来る、自ら市場開拓力がある。  
⇒日本電産、マフチモータ、資生堂、ダイキン

## 6 日本企業の課題と東アジアでどう対応するか？の続き

- 5) 事業のスピードアップ化、要求される開発スピード  
技術に対して間違った自信過剰、  
東アジアの企業群の開発スピード ⇒一挙にガラパゴス化(スマートフォン)
- 6) 大企業、中小企業を問わず判断できる人材を送り込まねばならない。  
日本で課長、部長が総経理になるが経営判断が出来ない、経験もない。  
企業のトップが1年或いは半年は自らが駐在して課題を認識する必要あり。  
有能な現地スタッフは日本人トップが頼りなく見え、将来に不安を感じ退職する。  
市場開拓力が極めて弱い。泥まみれで頑張るところがない。全てに一歩退けている。

## 7 その他の課題(公的機関)

- 1) JETROなどは戦略的組織でもなく、台湾の台商協会シンジケートを作ることも出来ず、頼りにならない。  
また、圧力団体足り得ない。  
⇒日本企業は個々の企業が個別で対応せざるを得ない。
- 2) 総領事館、領事館が積極的にサポートすることもない。  
更に出先機関としても地元行政とのパイプが細い。  
⇒領事館のウェブサイトから行動範囲の狭さ、  
人脈のなさ、資料作成のお粗末さなど推察される。

## 8 結語

- 1) ビジネスに国境はない。足元(国内)を固めてという発想は古い。
- 2) 打って出なければ助戦のみ。
- 3) ビジネスにリスクは常に伴う。  
リスクをどのようにコンプライズさせるかは知恵の出しよう。  
⇒先方社長と酒を飲み、人となりを知る。決断条件。  
⇒組織の行動より個人の活動の方がより機動的。
- 4) 初期のマーケティングは重要  
⇒最低1年は現地で市場開拓を。工場進出の前役としても
- 5) 大企業、中小企業問わず人脈の世界である。  
⇒どう構築するか、どう関係を継続させるか？  
⇒一旦関係が構築されると、網の目のようにネットワークが拡大する。

横澤 創 会長、入江 公敏 幹事

谷下喬一様、ようこそいらしゃいました。東アジアの情勢は緊迫したものが、タイムリーなお話で期待しております。どうぞ宜しくお願いします。

辻 彰彦 君

本日のゲストスピーカーの谷下様、タイムリーな話題と考え方をご教示下さいませ。また創業記念ありがとうございました。

プログラム委員会

本日の卓話「元気のあるアジア市場」を頂きます谷下様、遠路にもかかわらず、ご来訪下さりありがとうございます。どうぞ宜しくお願い致します。

上田 利久 君

橋本 日吉さん、職業奉仕についてジャズサウンドの中で語り合いDVDを作った頃を思い出しました。(当時の職業奉仕委員より)大和中RCは素晴らしいクラブです。感謝。

後藤 定毅 君

娘の結婚祝いをありがとうございました。異国の、そして政治的に難しい国の人とのことで親として随分悩みましたが、アメリカ留学時代の友情を温めての結婚ということで理解することにしました。31年前のこの時期に、ロータリーで彼女の誕生を祝っていた以来、皆様の永いご指導を娘ともども感謝いたします。

郡司 守 君

妻、よしこの誕生日祝いありがとうございます。ここ3ヶ月程、身体全体に出来た皮膚病に悩まされ泣いておりましたが、やっと治癒してきて、ここの所機嫌がよくなりました。

松崎 正実 君

結婚記念日のお祝いありがとうございます。たしか、36年目だと思います。

小柳 智裕 君

久しぶりの昼例会です。また、結婚記念ありがとうございます。

## Happy Wedding

後藤会員のご令嬢、歩さんが平成24年9月22日、韓国ソウル市で挙式されました。

当日は、大和中RC有志として横澤会長、高橋 政勝会員、神作 彰会員、館盛 道明会員、藤塚 勝明会員、梅田 秀雄会員、石川 健次会員の7名が出席しました。

姉妹クラブである東慶州RCからも、金大淵会長他15名がお祝いのため駆けつけ、後藤会員の同期ガバナーの崔PDG夫妻やソウル市の地区ガバナー、そして大磯での地区大会にも出席された、D.K.Lee元RI会長も出席されて、大変盛大な結婚式でした。

後藤歩さんは大和中RCのアイドルとして、幼少の頃から家族会などでお馴染みでした。この度のご結婚にあたり、心よりお祝い申し上げ、未永いお幸せをお祈りいたします。

